

Library Mate

新館長から

～ 図書館の夢 ～

図書館長 栗原 敦
(大学・国文学科教授)

世界は、しばしば一冊の大きな書物・本に例えられます。多分は、私たちの人生が森のようなその書物に踏入り、迷路のような小道を一つ一つ探索し続けるごときものだからでしょう。いつも気持のいい広場にたどりつくとは限りませんが、時には高みに出て、森の全体を見渡せることがあるかもしれません。

宮沢賢治の初期の未刊童話「ひかりの素足」の中には、博物館、図書館、そして本についてのイメージが語られていました。「大きな人」は、ここには本はいくらでもある、と言って、一冊の中に小さな本がたくさん入っているようなのも、小さな小さな形の本にあらゆる本がみんな入っているような本もある、と語ったのです。

いま、世界は情報の海になぞらえられます。世界がそのまま一つの巨大な情報体として結ばれているからですね。とはいえ、情報を束ねるファイルに様々なレベル(位相)と様々なエリア(領域)があるように、内側に沢山のマイクロコスモス(小宇宙)を抱え、同時にそのマイクロコスモスがマクロコスモス(大宇宙)の構造を照らしだしているかもし



れないというあり方、それは本が実現してきたことの延長上にあるものなのでした。

もちろん、世界は、すでに探索し尽くされたものではなく、絶えず拡がり、変容してやまないものですから、私たちの探究もまた常に新しく続けられなければなりません。大学という教育機関の任務は、この、常に新しく営み続けられる探究に挑戦できるノウハウを伝えるところにあるのです。研究と教育が不可分であるのもそのためですね。ですから、大学の図書館もまた、広く市民としての教養を育てるためのサービスに努めるとともに、専門図書館として、未知への探究の手助けとなり、先人たちの営みから学んで、それを検証(顕彰も含む)することを可能にする資料を提供できる機関でなければならないのです。

～ 『図書館利用・学術情報の受発信に関するアンケート』 ～ - 調査結果の概要 -

今年1月に、大学・短期大学の教員・助手132人に対して、図書館利用・学術情報の受発信に関するアンケートを行った。

このアンケートの目的は、本学における教員構成およびその学術情報の利用の実態を知り、問題点を整理して、今後の図書館サービスに活用することである。アンケート結果は、冊子として印刷し、各関係部署並びに各学部・学科に数部配布する。

調査項目は14問で、大きく分けると、図書館利用とサービスの認知度 学術情報の利用 研究成果の保管と発信 図書館に関する自由な意見、となる。

調査方法は、調査用紙の設問に対して、回答を直接記入する方法を取った。2006年1月11日に配布を開始、1月25日に回収を締め切った。132通の調査用紙に対し118通が回収できた。アンケートの回収率は、89.4%である。回収できた回答を基に、2月から3月にかけて分析を行った。今回は、その結果の一部を紹介する。

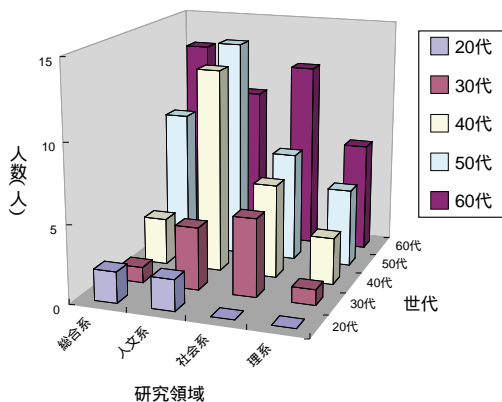
～ アンケートの設問とその分析 ～

● 図書館利用とサービスの認知度

Q1 . あなたの研究領域はどれですか。科研費分類に準じます。

Q2 . あなたの年齢の年代を教えてください。

教員構成を、研究領域と年齢から試みた。年齢構成はベテラン層が多く、若年層が少ない逆ピラミッド型であり、研究と教育について経験豊富な教員が多いことを意味している。世代で分けると、研究活動の活発な世代(20代から40代)、研究活動と教育活動の中心的存在となる世代(50代)、研究活動の集大成を行う世代(60代)の人数がほぼ同数である。



研究領域別の年齢分布図

Q3 . あなたの図書館利用頻度を教えてください。
Q4 . 図書館の利用目的を教えてください。
Q5 . Q3でほとんど利用しないと回答された方に質問します。利用しない理由を教えてください。

- ・ 図書館の習慣的な利用(1週間に1回以上)は約4分の1、調査・緊急時の利用は約3分の1。
- ・ 全く利用しない教員は約10%(理由:利用する時間がない、必要な資料は自分で揃える、など)
- ・ 図書館の利用目的は、学術書・専門書の利用が約3分の1。総合系、社会系、生物系は雑誌の利用が学術書・専門書の利用と同頻度。人文系は参考図書の利用が多い。

Q6 . 図書館で行われているサービスについてお尋ねします。

質問項目は、教員推薦図書制度、教員指定図書制度、図書館の提供している諸サービス(7種)、導入情報サービス(6種)、遠隔サービス(3種)を質問した。

- ・ 教員指定図書・推薦図書制度の利用者は約60～70%で、満足度は普通が一番多い。両制度とも認知度は高いが、利用したことがない教員が30%前後存在する。
- ・ 図書館が提供するサービスの全体の認知度は高いが、実際の利用は多いとは言えない。利用は他大学からの文献複写取寄せがもっとも多く、遠隔サービスではWebOPACがよく使われている。

● 学術情報の利用

Q 7 . 論文執筆など、研究の際どの資料を重視しますか。その番号とそれに対する当館の所蔵に対する満足度をご回答ください。

- ・ 研究上重視する資料は、学問領域別で次の通りである。

	1 位	2 位	3 位
総合系	和雑誌 (10)	洋雑誌 (10)	白書、判例、統計 .. (9)
人文系	和図書 (27)	原資料 (26)	洋図書 (23)
社会系	和雑誌 (18)	和図書 (15)	洋雑誌 (12)
理 系	洋雑誌 (11)	和雑誌 (10)	洋図書 (4) , テクニカルレポート (3)

- ・ 蔵書全体に対する評価

満 足	普 通	不 満	分らない	無回答
55	122	96	34	8

蔵書の不満：原資料、洋雑誌、洋図書の順であった。

- ・ 人文系からは、蔵書は高い評価を得る一方で、同じくらいの不満も指摘された。
- ・ 社会系からは洋雑誌、和図書、洋図書が、理系からは洋雑誌への不満が多かった。
- ・ 総合系からは蔵書全体に対する不満が多かった。

Q 8 . 研究に必要な国内外の文献、資料が図書館にない場合、どのように入手していますか。

Q 9 . 研究に必要な国内外の学術情報をどこから得ていますか。

Q 10 . 大学・短大図書館以外から得られる主な情報はどのようなものですか。また、それは図書館で収集可能なものでしょうか。

- ・ 研究に必要な国内外の学術情報の入手先は外部（研究者、学協会）が多い。
- ・ 図書館を全く利用しない、あるいは調査・緊急時に図書館利用が限定されている教員の、図書館提供サービスの認知度は、それ程低いわけではなく、また、蔵書に対する満足度が低いわけでもなかった。

● 研究成果の保管と発信

Q 11 . ご自分で作成または作成に携わった電子的な学術情報をお持ちですか。それは Web 上で公開されていますか。

Q 12 . 学術情報をインターネットで誰もが無償でアクセスできるようにする「オープンアクセス」... (中略) どのような感想をお持ちでしょうか。

Q 13 . 研究者が産出する電子的な学術情報を、図書館あるいは大学のホームページに登録・保存する無償の格納庫「学術機関リポジトリ」... (中略) どのように思われますか。

- ・ 電子的情報源を所有する教員は約35%で、電子ジャーナルなど外部公開が多い。
- ・ オープンアクセスは約90%が支持、約40%近くが賛同しているが、実践者は全体の約1割。但し、著作権問題やセキュリティ強化などの問題をクリアした上での支持である。
- ・ 機関リポジトリ (注) は約80%近くが興味を示し、その過半数は機能があれば使いたいと意思表示をしている。

● 図書館に関する自由な意見

Q 14 . 図書館へのご意見、ご感想がありましたら、お書き下さい。

自由意見はスペースの都合上省略

[考 察]

このアンケートで明らかになったのは以下の4つである。

学術情報の受発信基地としての図書館への期待の大きさ
認知度は高いにも関わらずあまり利用されない当館提供サービス
遠隔サービスの中で比較的良好に使われているのがWebOPAC
教員・助手の要求に応え切れていない蔵書構成

自由意見では、現行の図書館サービスに対し、厳しい意見や見直しの検討・提案が相次いだ。しかし、これは図書館への期待と受け取ることができる。今回の調査・分析結果と教員からの貴重な意見・提案を今後の図書館サービスに活かしていきたい。最後に、本調査は、各研究室所属の専任教員、専任講師、助手、副手の皆さまの大いなるご協力・ご配慮によって実現した。ここに厚くお礼を申し上げる次第である。

(注) 機関リポジトリとは、学内教員による知的生産物 (論文、電子的教材、実験データ、学会発表資料) を蓄積・保存・発信するための電子図書館兼保存庫です。

図書館の新サービス 第1弾! >>>>

今年度より導入した新しいサービスをご紹介します。



データベース検索結果の論文リスト・詳細画面から所蔵検索へ

MAGAZINEPLUS (当館契約データベース・館内利用のみ)

主に人文・社会分野系の雑誌記事・論文を探せるデータベースです。検索して表示された詳細検索結果画面で、大学図書館にその雑誌が所蔵されているかどうか分かるようになりました。今までのように画面を切り換えて再び当館蔵書目録OPACで調べ直さなくても、「実践女子大学OPAC」の表示をクリックすると資料所蔵の有無を一目で確認することができます。

MAGAZINEPLUS	
検索結果	0001~0019 (19件中)
1 題 題	The Earl of Toulouse—The Rynga of Trouthe
著者名	大関啓子
雑誌名等	実践英文学 [ISSN0389-0764] (実践英文学会) 58 2006.2 p67~79 実践女子大学OPAC
備 考	NDL請求記号:Z12-279 [日外整理No.Z115008]
2 題 題	"The Social Status of Japanese Women"—下田歌子The Timesへの寄稿
著者名	大関啓子
雑誌名等	実践女子大学文学部紀要 (The Faculty of Letters of Jissen Women's University annual reports of studies) [ISSN0289-9466] (実践女子大学) 47 2004年度 p77~94 実践女子大学OPAC
備 考	NDL請求記号:Z22-481 [日外整理No.Z108244]
3 題 題	中世英詩 Havelok the Dane—Nostalgia for Scandinavia
著者名	大関啓子
雑誌名等	実践女子大学文学部紀要 (The Faculty of Letters of Jissen Women's University annual reports of studies) [ISSN0289-9466] (実践女子大学実践女子短期大学実践女子大学文学部(部か)) 45 2002年度 p19~41 実践女子大学OPAC



< 判別方法 >

「実践女子大学 OPAC」のマークが、論文詳細画面に付与されます。

< 注意点 >

このサービスは雑誌に付与された ISSN (国際標準逐次刊行物番号) によってリンク付けがされています。以下のことに注意して検索を行って下さい。

- ・ ISSNを持たない雑誌 (例えば、『文藝春秋』や『週間朝日』)にはマークが付きません
- ・ マークが付いても、該当する巻号を所蔵しているとは限りません

JDream II

(当館契約データベース・館内利用のみ)

自然科学系分野の雑誌記事・論文が探せるデータベースJDreamIIにもMAGAZINEPLUSと同様の機能が付与されました。こちらは書誌・抄録詳細画面に、「Your Collection」と表示されたところをクリックすると図書館のOPACを検索してくれます。該当資料所蔵の有無が画面を切り換えることなく分かります。



こんな新聞記事も見つかります

朝日新聞・読売新聞データベース

朝日新聞と読売新聞、それぞれの新聞紙面イメージを収録したCD/DVD-ROMデータベースを購入しました。これにより戦前以前の新聞記事検索が格段にアップします。

新聞名	データベース名	メディア	検索可能年	紙面イメージ
朝日新聞	朝日新聞戦前紙面データベース	CD-ROM	1925-1945	1925-1945
	聞蔵Ⅱ（契約予定）	インターネット	1945-	1945-1984
読売新聞	明治・大正・昭和の読売新聞	CD/DVD-ROM	1874-1960	1874-1960
朝日・読売ほか	日経テレコン21（朝日・読売）	インターネット	1984/85-	なし

< 注意点 >

- ・朝日新聞の1985年以降と、読売新聞の1960年以降の新聞記事については、パソコン上では紙面イメージを確認できませんので、地下2階にある新聞縮刷版の併用をお願いします。
- ・なお、利用者端末4番では、『朝日新聞戦前紙面データベース』と『明治・大正・昭和の読売新聞』のCD/DVD-ROMの入替なしで検索・閲覧可能です。利用を希望される方は、カウンターに申し出て下さい。

大正の読売新聞より

上;1921年10月15日 朝刊1面より

下;1925年12月6日 朝刊11面より



電子ジャーナルの探し方が変わります

電子ジャーナル・ポータル Serials Solutions

（当館契約データベース・館内利用のみ）

本学が利用契約した学術雑誌の電子版（電子ジャーナル）およびインターネットで無料公開されている学術雑誌を探ることができます。大学・短大内であれば、契約電子ジャーナルはどこからでも検索・本文表示・印刷が可能です。学外からはアクセスできませんのでご注意下さい。電子ジャーナル・ポータルへのアクセスは、当館ホームページからか、もしくはURLを直接入力して下さい。

URL: <http://hk2ms2lu3p.search.serialssolutions.com/>



図は、英語メニューとなっていますが、日本語メニューへ変更を行う予定です。

< 検索方法 >

- ・雑誌名、主題分野別リスト、ISSN、出版社からアクセスすることができます

< 注意点 >

- ・雑誌名の下に全文閲覧可能年が表示されます
- ・出版社から選択する場合は、当館で契約していない雑誌も表示されます

本に蓄積された「時間」

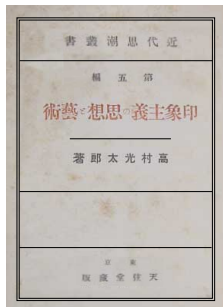
『印象主義の思想と藝術』

高村光太郎著，天弦堂，1915，266 p <註>

大学 美学美術史学科 教授

六人部 昭典

* 『印象主義の思想と藝術』について



この本は高村光太郎が1915(大正4)年に著したもので、題名からも分かるように、印象派の画家たちの作品や思想を論じています。高村は詩集『智恵子抄』などで知られる詩人ですが、彫刻家であり、また近代日本における芸術思想の形成にも重要な役割を果たしました。

彼は1909(明治42)年にフランスから帰国すると、創作(詩と油絵、彫刻)に励むとともに、多くの芸術論(1910年「緑色の太陽」など)を発表します。この時代には『白樺』などの文芸雑誌が西洋美術を積極的に紹介しましたが、高村の『印象主義の思想と藝術』は日本人による最初の本格的な印象主義論だったと言えます。

私は西洋近代美術、特にモネを中心とした印象主義絵画を研究してきました。印象派の画家たちは現在の日本で広く親しまれています。では、印象派は日本でどのように紹介され、評価されてきたのでしょうか。このような受容史の問題は取り組まなければならない研究課題でしたが、宿題になったままで、高村光太郎の芸術論もそこに含まれていました。そうした折に、1915(大正4)年に出版された『印象主義の思想と藝術』の実物を京都の古書店で見つけたのでした。引き合わせのようなものを感じ(美術史の神様か、本の神様の計らい?)受容史研究を始めることになりました。

* 本のオーラ

私は今年の春に実践女子大学に赴任し、住まいも京都から東京に移ることになりました。引越しに際して一番の問題となったのは、蔵書をどうするかでした。京都では書齋のほかに書庫

を1部屋設けていたのですが、東京で同じ広さを確保しようというのは無理な話です。本棚を見上げては、ため息をつく毎日。結局、蔵書は京都の実家と東京のマンション、大学の研究室の三つに分けることになりました(パッキングを担当してくれた前任校の皆さん、搬入・整理を手伝ってくれた実践女子大の大学院生の皆さん、本当にありがとう!)

それにしても、なぜ、こんなに本に魅入られてしまったのでしょうか?美術関係の書籍の美しさも理由のひとつでしょう。しかし決定的だったのは、古書のもつ抗しがたい魅力だったと思います。そして、この魅力(「オーラ」と言ってもよいでしょう)は、本に蓄積された「時間」から生まれるのだと思います。たとえば『印象主義の思想と藝術』の場合(90年を越える歳月が経過しているわけですが)、高村が西洋の美術や思想と向かい合った時間、前の所有者がこの本を愛蔵し、高村の文章から何かを学ぼうとしてきた時間、本の中にはさまざま時間の層が重なり合い、眠っているのです。

* 学生の皆さんへ

4月に赴任して、私がまず驚いたのは、実践女子大学の図書館が大変充実していることでした。ぜひ、図書館に足を運び、豊富な図書を活用して、勉学に役立ててください。そして書架の間を歩き、頁を開くときに、本に蓄積されたさまざまな時間、本の中に眠っている時間の層にも、いつか気づいてほしいと思います。

<註>図書館には先生よりご紹介のあった図書の所蔵はありませんが、同本文は以下の図書に収録されています。

『芸術論』下巻(高村光太郎選集第4巻)

中央公論社, 1952

(大学 : 918.68 Ta45 4 1A0052296)

『高村光太郎全集』第4巻

筑摩書房, 1957

(大学 : 918.68 Ta45 4 1A0052308)

近隣図書館紹介

～第6回 日野市立中央図書館の巻

「市民が気軽に使える図書館」

その先駆的活動から、現在の公共図書館の原型を作ったとされるのが日野市立図書館である。今回は7つの分館と1台の移動図書館(自動車図書館)から構成される同図書館の中心となる中央図書館を訪問させていただいた。

筆者にとって、同館訪問は10数年振りである。外観には変化はないようだ。玄関から入館すると、右に児童図書室、左にカウンター、そして正面には閲覧書架室が大きく広がる。閲覧書架室は大雑把に言うと、カウンター正面から見て3つのコーナーに分けることができ、右側が閲覧席、スペースの半分を占める左側が一般図書用の書架、真ん中に雑誌コーナーとその向こうには一般図書用で背の低い書架がある。そして壁面には背の高い固定書架が配置されている。雑誌コーナー付近には、テーマ別資料が展示されており、今回は「日野で子育て」となっていた。一般図書用の書架はゆったりした配置であるが、収納状況はかなりキツイ状態である。館員の方に尋ねると、地下に電動式の閉架書庫があるものの、書架不足は紛れもない事実だと言うことである。



児童・中高生へのサービスと障害者への方々へのサービスのことを尋ねると、同館では日野市の小学校3年生全クラスを対象に、年1回巡回し、授業で図書館の紹介や読み聞かせを行ったり、要請に応じて子供たちの職場訪問・体験学習を受け入れたりしている。また5月末より、小学校のインターネット端末から、先生方が所蔵検索し、予約した、学習に必要な資料を、小学校に届けるサービスを開始する。障害者の方々に対しては、視覚障害者向けの音声読み上げパソコンの導入、中途失明者に対する点字技能取得支援、音訳図書と点訳図書の作成と宅配・貸出を行っている。中央図書館はバリアフリー対応ではないが、バリアフリー化の意向が強く感じられた。

2階に上ると参考図書室がある。恐らく、初めて訪れた方は参考図書室を見てドキリとされるに違いない。参考図書室は静かな環境を求めて、1階の閲覧開

架室から分離された配置となっている。参考図書室カウンター奥の小部屋には、日野市関連の地域資料、全国の電話帳、全国紙と東京新聞の地方版ページを極小撮影したマイクロ資料があった。日野市に関連深い「新選組」関係の資料の多くは、最近改修された日野駅近くの「日野図書館」に移されたとのことである。2003年8月に同館が刊行した『新選組を読む・調べるために』は、現在第3版(2005.4)まで刊行されている。



見学して感じるのは、公共図書館の基本サービス(館外貸出、児童サービス、分館と移動図書館による全域サービス網、高齢者・障害者支援)を忠実に実行する姿勢である。しかし、1973年に完成し、開館時の原形を留める中央図書館の老朽化が目立つのも事実である。また、サービスポイントが最大80数ヶ所から約20ヶ所に減少した移動図書館のサービスは維持されているものの、市民の生活様式の変化と都のディーゼル車規制によりその存続は微妙である。

現在の日野市はマンション建築ラッシュで人口が急増している。同館への利用者からの2005年度の予約は、20万件のうち16万件がインターネット経由である。人口の急増により、これまで以上に多様な要求が、施設、蔵書、そして職員の処理能力を超えてしまうのではないかと心配される。同館のサービスの維持・改善・発展のため、今後の図書館のあり方について、市民参画で図書館基本計画の策定を予定しているとのことである。

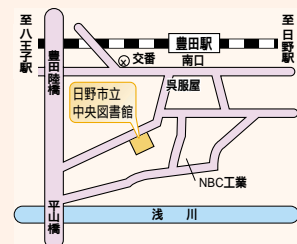
< 日野市立中央図書館 >

蔵書：図書 69 万冊
(8 館合計)
雑誌 219 種

〒 191-0053
日野市豊田 2-49
TEL：042-586-0584
HP:

www.lib.city.hino.tokyo.jp/

交通：中央線豊田駅下車徒歩7分



※※いんふお-め-しょん※※

2006年7月～2006年11月

大学図書館

開館時間

通常：月～金 8:50～19:30

土 8:50～16:00

試験期（7/1～7/31）

月～金 8:50～19:30

土 8:50～18:00

（8/1～8/2 8:50～18:00）

夏休み期間（8/3～9/20）

月～金 9:00～16:00 土曜休館

休館日

書庫整理日：9/26、10/31、11/28

夏休み期間：毎週土曜日、8/10(水)～8/18(金)

試験期の貸出

7/1(土)～7/25(火) 3日間貸出

夏休み特別貸出

期間：7/26(水)～9/11(月)

対象資料：図書のみ

冊数：無制限

返却日：9/25(月)

卒論作成者のための特別貸出

対象：博士論文・修士論文作成者
卒業論文作成者(全ての学科)

受付期間：10/2(月)～11/9(木)

貸出期間：貸出日から30日間

対象資料：図書のみ

冊数：無制限

卒論・修論特別貸出対象資料は、大学図書館の
図書のみです。

指定図書・雑誌は通常貸出です。

短期大学図書館

開館時間

通常：月～金 9:00～18:45

土 9:00～16:00

試験期も通常通り。

但し、8/1～8/2 9:00～18:15

夏休み期間（8/3～9/19）

月～金 9:00～16:00 土曜休館

休館日

書庫整理日：10/25、11/10(常磐祭準備日)

夏休み期間：毎週土曜日

8/5(土)～8/31(木)は、夏期休業
及び蔵書点検のため休館。

試験期の貸出

7/1(土)～7/25(火) 3日間貸出

対象：大学生、短大生

夏休み特別貸出

図書 冊数：無制限

期間：7/26(水)～9/11(月)

AV資料 冊数：6点

期間：7/26(火)～9/15(金)

指定図書 冊数：3冊

期間：7/26(水)～9/22(金)

返却日：9/26(火)

雑誌は通常貸出です。

常磐祭のため11/10(金)～13(月)は休館。

詳細や変更は掲示にてお知らせします。

編集後記

7月3日より、短大図書館は、開館時間を試験的に30分間延長し、18:45まで開館しています。どうぞご利用下さい。

次号では図書館の新サービス第2弾をお届けします。ご期待下さい。

Library Mate 第36号 2006年7月

発行所 実践女子大学図書館
東京都日野市大坂上4-1-1
URL:<http://www.jissen.ac.jp/library/>
実践女子短期大学図書館
東京都日野市神明1-13-1
URL:<http://www.jissen.ac.jp/library/jcol/>

発行責任者 栗原敦